

ブラジャーサイズ調査リポート

53.5 (%)

オ
ン
ナ
の
人
変
わ
る
○

2月12日はブラの日

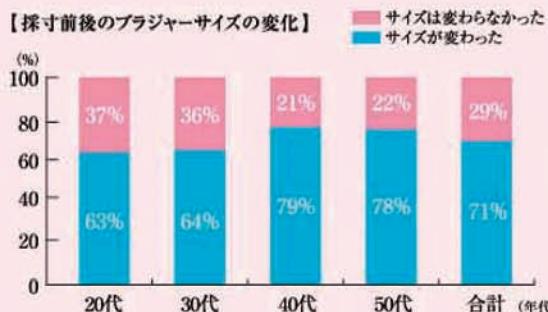
1913年のこの日、アメリカ人女性マリー・フェルプ・ジャコブが「ブラジャー」を発明し、特許を取得しました。当時のブラジャーは、ハンカチをリボンで結んだだけという単純なものでした。

71%が、自分のサイズを勘違い。

年齢が高くなるほど、美しくなれるチャンスを秘めている。

今回の調査では、「カップまたはアンダーサイズが変わった」人の割合は、全体で約7割。これまで自分が思っていたサイズと、実際の採寸サイズが異なる人が、大半を占める結果となりました。また、年齢が高くなるほどサイズが変わった人の

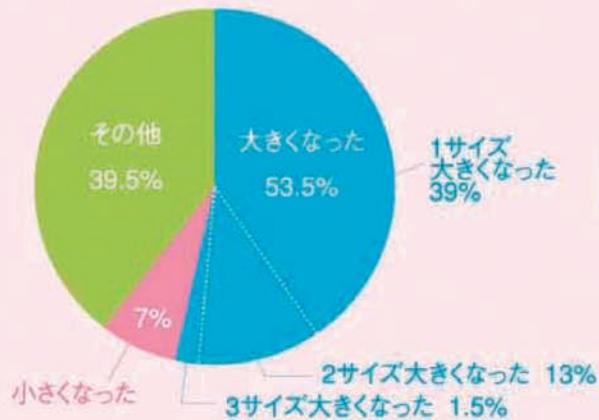
割合が増えていることから、昔に測ったサイズのまま、長年思いこみのサイズで購入し続けている人が多いことがうかがえます。自分の本当の美しさに、長期間気がつかずに損をしている女性が多いかということがわかります。



53.5%は、小さいカップをつけていた。

押さえつけでは、もったいない。

注目すべきは、小さいカップをつけていた人の数。今回の調査で「カップが大きくなった」人の割合は全体で5割以上になり、1サイズだけでなく、2サイズ以上大きくなった人もかなりの数になりました。この事実から、元々そなえている豊かなバストを小さいカップサイズのブラジャーで押さえつけ、美しいバストシルエットを隠してしまっていることがわかります。また一方で、アンダーサイズが小さくなったり人は2割近く。カップは大きく、アンダーは小さく、そんな理想的ともいえるメリハリボディが、上手に引き出せていない場合が多いようです。



採寸後の
カップサイズの変化

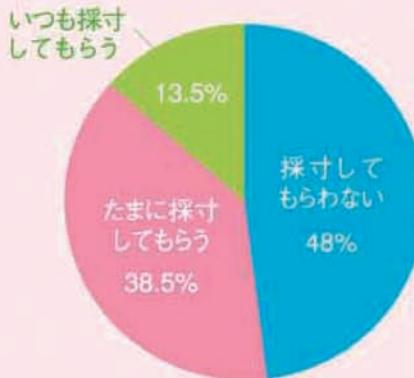


採寸後の
アンダーサイズの変化

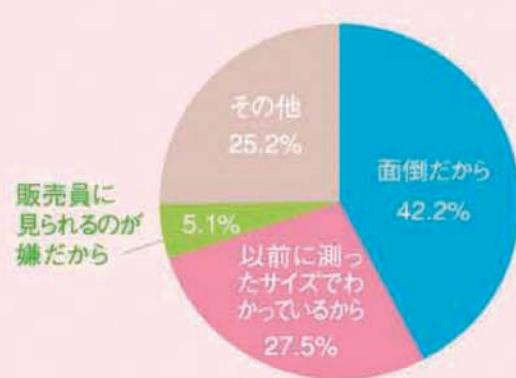
48%が、採寸せずに購入していた。

このわずかな時間が、美しさに大きな差をつける。

ブラジャーを購入するとき、「採寸してもらわない」人の割合は5割近く。採寸してもらわない理由としては、採寸が「面倒だから」という人が圧倒的に多くなっています。続く「以前に測ったサイズでわかっているから」という理由と合わせると、採寸が面倒で、昔測ったサイズのまま購入し続けている人が多いことがうかがえます。またわずかですが、インナーだから試着できないのでは?と思いこんでいる人もおり、「ブラジャーを試着する」という概念を持たない人もいました。



採寸してもらいますか?



採寸しない理由は?

今回の調査で明確になったのは、「自分のサイズをわかっているつもりで、実は合っていないサイズで購入している」人が、いかに多いかということ。そして2人に1人が、本来の豊かで美しいバストシルエットを隠してしまっているという事実です。では、小さなカップのブラジャーをつけると、シルエットがどのように違うのでしょうか？

～魅せろ、真実の姿を～

正しいサイズをつけた場合



間違ったサイズをつけた場合



Eカップ

豊かなふくらみに、若々しい高いトップ谷間もくっきり。そして、脇から背中にかけてのラインも、スッキリなめらか。その人の真実のバストを表現すると、こんなにも美しいメリハリのあるシルエットが生まれます。

バストトップ位置 -----

① カップ1サイズ間違い(Dカップ)

一見良さそうに見えますが、正しいサイズと比べると、トップの高さに大きな差があり、バスト全体が下についているように見えます。せっかくの豊かなふくらみがつぶれて、谷間もやや浅めに。

② カップ2サイズ間違い(Cカップ)

ふくらみがつぶれているだけでなく、カップの上に明らかな段差が出ています。そして取りきらないふくらみが脇へと流れ、背中にかけても段差が出ることに。ここまで押さえつけると、胸もとが圧迫されて苦しく感じるはずです。



自信のバストへ。違いを実感。 今回の調査で、実際に試着した方から驚きの声が！

- 思っていたより大きなサイズで驚きました。
- 1サイズ上がってうれしい。体型も変わるので、試着は大事ですね。
- 胸の谷間がしっかり作られ、バストアップ！ 採寸することの大切さを痛感しました。
- からだにとてもフィットして、トップの位置も上がったんです！
- デザインによって、自分に合うサイズが違うことにビックリです。
- サイズとカタチで効果の差がわかって、目からウロコ。サイズが合っていれば、苦しいこともないんですね。
- きちんとしたサイズを試着すると、キレイに見えるだけでなく、からだもとってもラクでした。
- ラインがきれいに出ただけじゃなく、肩がラクで疲れにくいた感じました。
- 今まですごく窮屈だったのは、サイズが違っていたからなんですね。
- 洋服を着た後のシルエットも全然違いましたよ。
- つけごこちが今までと違う。スッキリ見える感じもします。
- つけ方を教えていただいて改めてつけると、シルエットがまったく変わってビックリ！
- 自分に合ったサイズがわかったので、自信を持ってインナーがつけられます。
- 自分に合うブラジャーを着用すると、プロポーションに自信が持てそう。

自分史上最高のバストシルエットを。

肌や髪、爪などのすみずみを磨き上げ、どんどん美しくなっていく女性たち。

しかし多くの日本女性が、女らしさの象徴の一つともいえるバスト、自分自身に秘められたバストシルエットの美しさに気がついていません。正しいサイズのブラジャーをつける。

たったそれだけで、自分史上最高のバストシルエットを手に入れられるというのに。

本当の意味での美の追求は、まだまだなされていないのです。

これからは、購入ごとの採寸と数多くの試着を習慣に。

フィッティングルームや知識豊富な販売員を上手に利用して、
“自信のシルエット”を手に入れてください。

正しいサイズをつけるメリット

- 自分のバストシルエットの美しさを十分に引き出せる。
- メリハリが生まれ、姿勢も良くなり、プロポーション全体が美しくなる。
- フィット性の高いファッションも、自信を持って楽しめる。
- 違和感がなく、快適。ついているほうがここちよいと感じるほど。
- 若々しい体型を維持するのに役立つ。
- 自分の体型の変化に気づきやすく、スタイルを保つためのアクションを起こしやすい。

間違ったサイズをつけるデメリット

- 小さいサイズによる、苦しさ。本来の豊かさを表現できない。
- 大きいサイズによるズレで、違和感を覚える。シルエットが崩れる。
- 長年の押さえつけやズレ上がりなどで、体型を崩してしまった例も多数。

もし今、日本の女性たちにバストシルエットへの自信がプラスされたら、きっと最強。

胸をはって闊歩する美しい姿の女性たちが増えていくこと。

それは本人だけでなく、まわりにいる多くの人にまで元気を与えてくれるに違いありません。



- ブラジャーをはずすとラクになる。
- からだにくいこんで段になっている。
- 無意識にアンダーを上げ下げしてしまう。
- ストラップが肩からよく落ちる。
- カップを押すと、パコパコする。
- 1年以上、サイズを測っていない。

1つでも当てはまつたら、サイズ違いの可能性が!

ブラのサイズ診断は、
LALANサイトでも実施中。

<http://www.lalan.jp>

●お店に行く前に簡単チェック!

モニター試着調査項目

- (1)あなたのサイズをお教えください。
- (2)いま着用しているブラジャーのサイズは、合っていると思いますか?
- (3)普段ブラジャーを購入するときに、採寸をしてもらいますか?
- (4)いつも採寸しない理由はなんですか?

(5)普段お使いのメーカー(ブランド)は?

- (6)実際に採寸したサイズ
- (7)採寸前後のブラジャーサイズの差

※必要なデータは、下記ワコール宣伝部までお問い合わせください。

調査期間：2008年11月10日～11月30日

調査方法：モニターとして、20～50代の女性を無作為に200名抽出し、百貨店のショップにご来店いただき調査実施。
事前に本人が着用するブラジャーサイズを自己記載、採寸・試着後、販売員がジャストフィットサイズを記載。

サンプル数：200名

対象者：20～50代の東京・大阪の有職女性

